

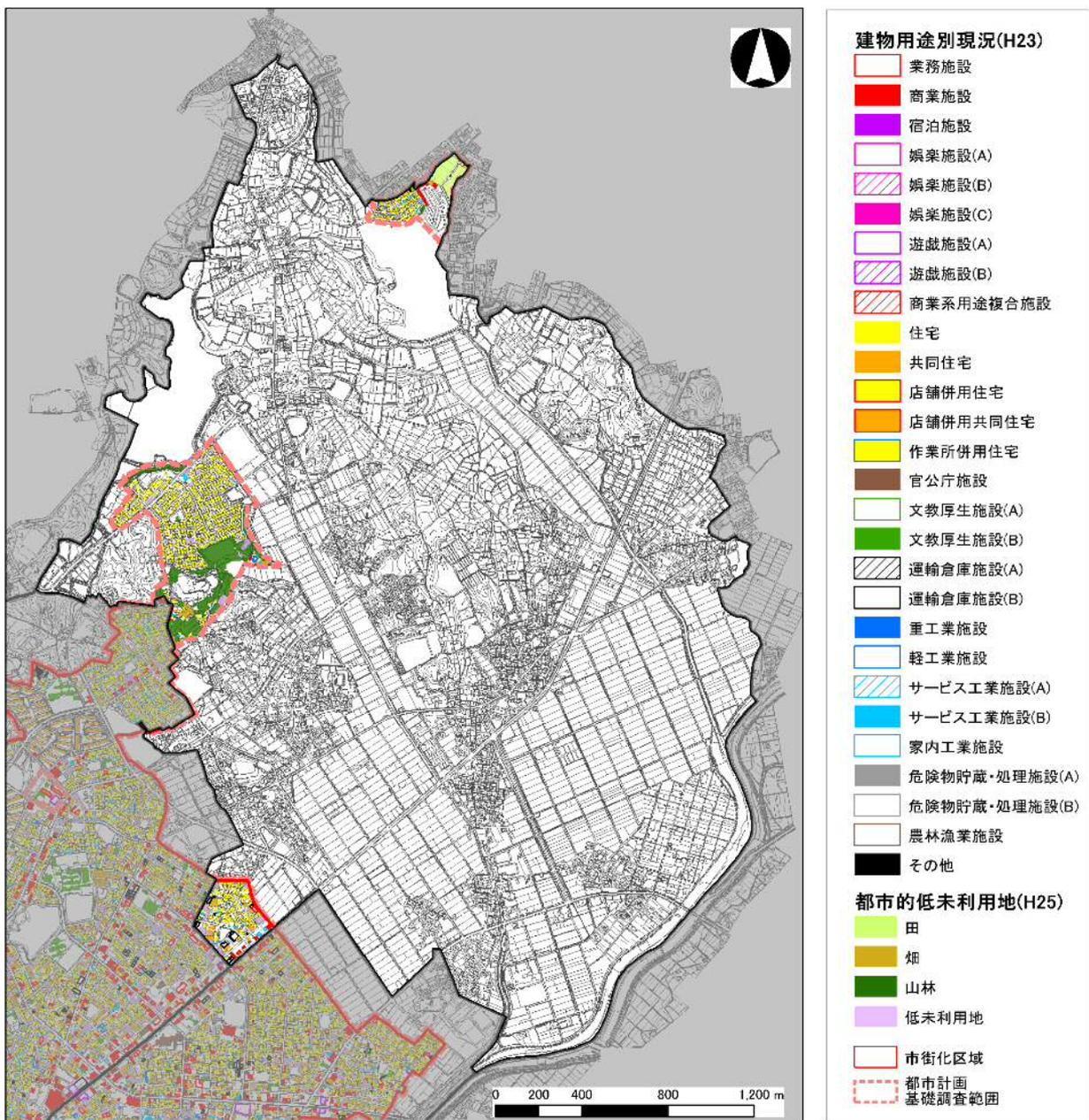
沓掛小学校区

1 地域の概況

(1) 土地利用

- 沓掛町小廻間や沓掛町若王子などで一部住宅団地や集落があり、その他は農地が広がっています。幹線道路沿いでは、商業施設の立地もみられます。

図 土地利用現況

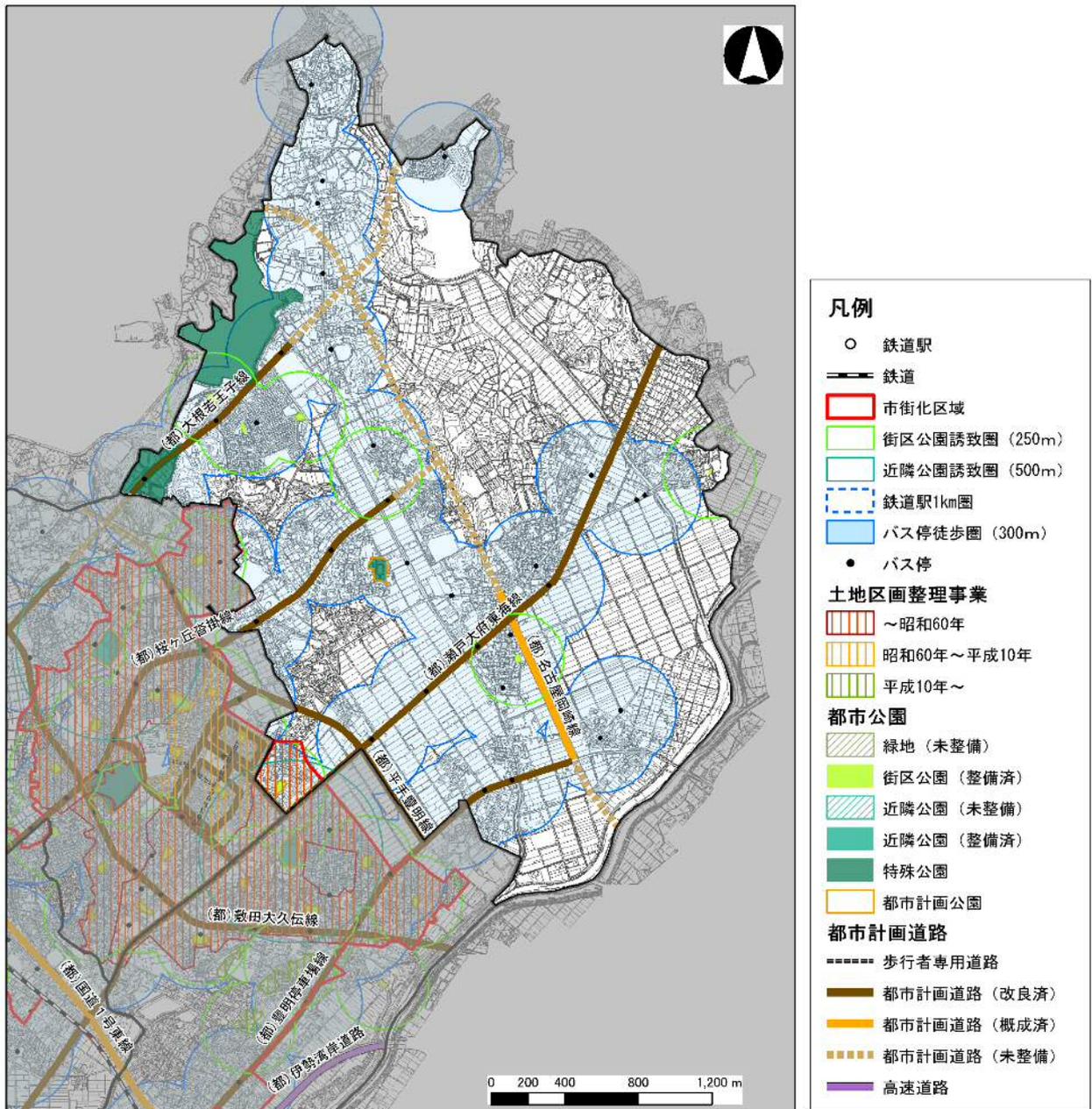


資料：平成 23、25 年度都市計画基礎調査

(2) 都市基盤

- 宅地となっている地区はほぼバスの利用圏（半径 300m）に含まれているものの、沓掛交差点周辺がバスの利用圏に含まれておらず、公共交通の利便性が低くなっています。
- 都市公園は、集落や住宅団地内に整備されています。また、特殊公園である沓掛城址公園があります。
- 都市計画道路では、(都)名古屋岡崎線や(都)大根若王子線の北側の区間が未整備となっています。

図 都市基盤整備状況



資料：豊門市

(3)人口等

- 平成18年から平成28年にかけて地域全体で、人口が減少しています。
- 高齢者割合は地域全体で市平均24.8%（平成28年住民基本台帳）を上回っています。

表 地域内の人口と高齢化の状況

町名	H28人口	H18人口	人口増減数	H28高齢者	高齢者割合
沓掛町	7,842	7,849	-7	2,023	25.8%
合計	7,842	7,849	-7	2,023	25.8%

※各町の人口等は本地域分を計上

資料：住民基本台帳

図 H18～H28 人口増減

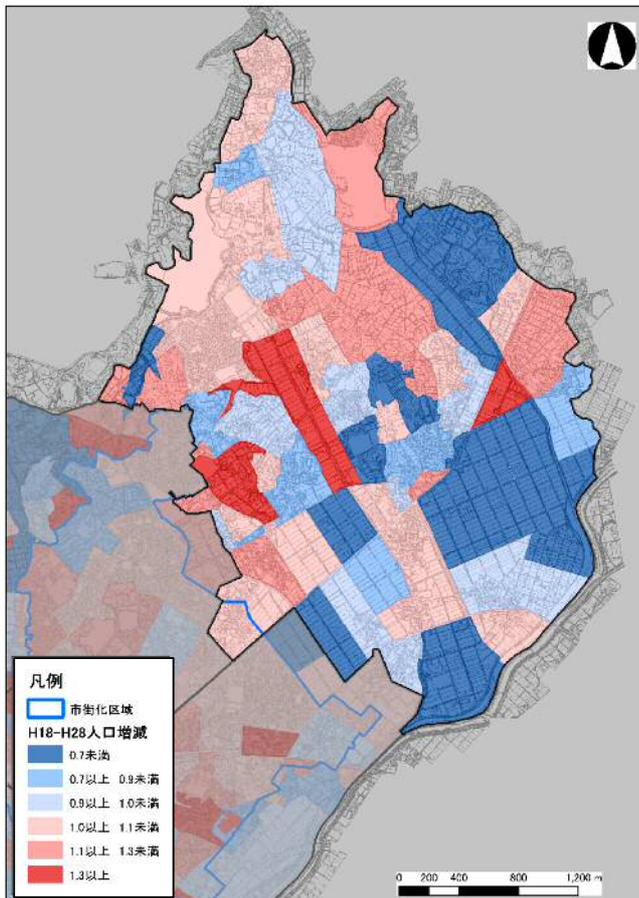
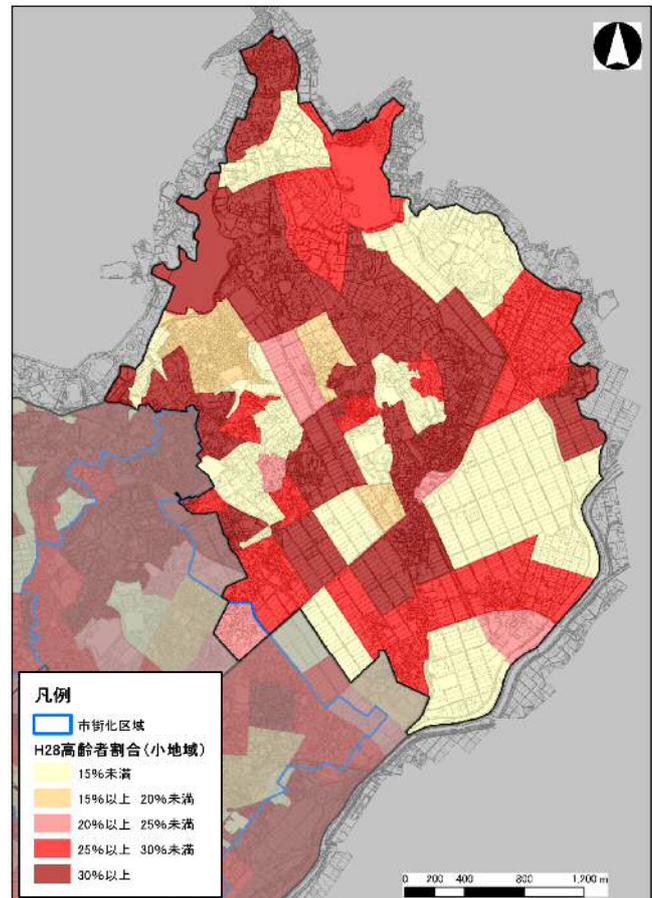


図 H28 高齢者割合



資料：住民基本台帳

2 地域の魅力と問題点

地域別ワークショップで出された意見をもとに、本地域におけるまちづくり上の魅力と問題点を整理します。

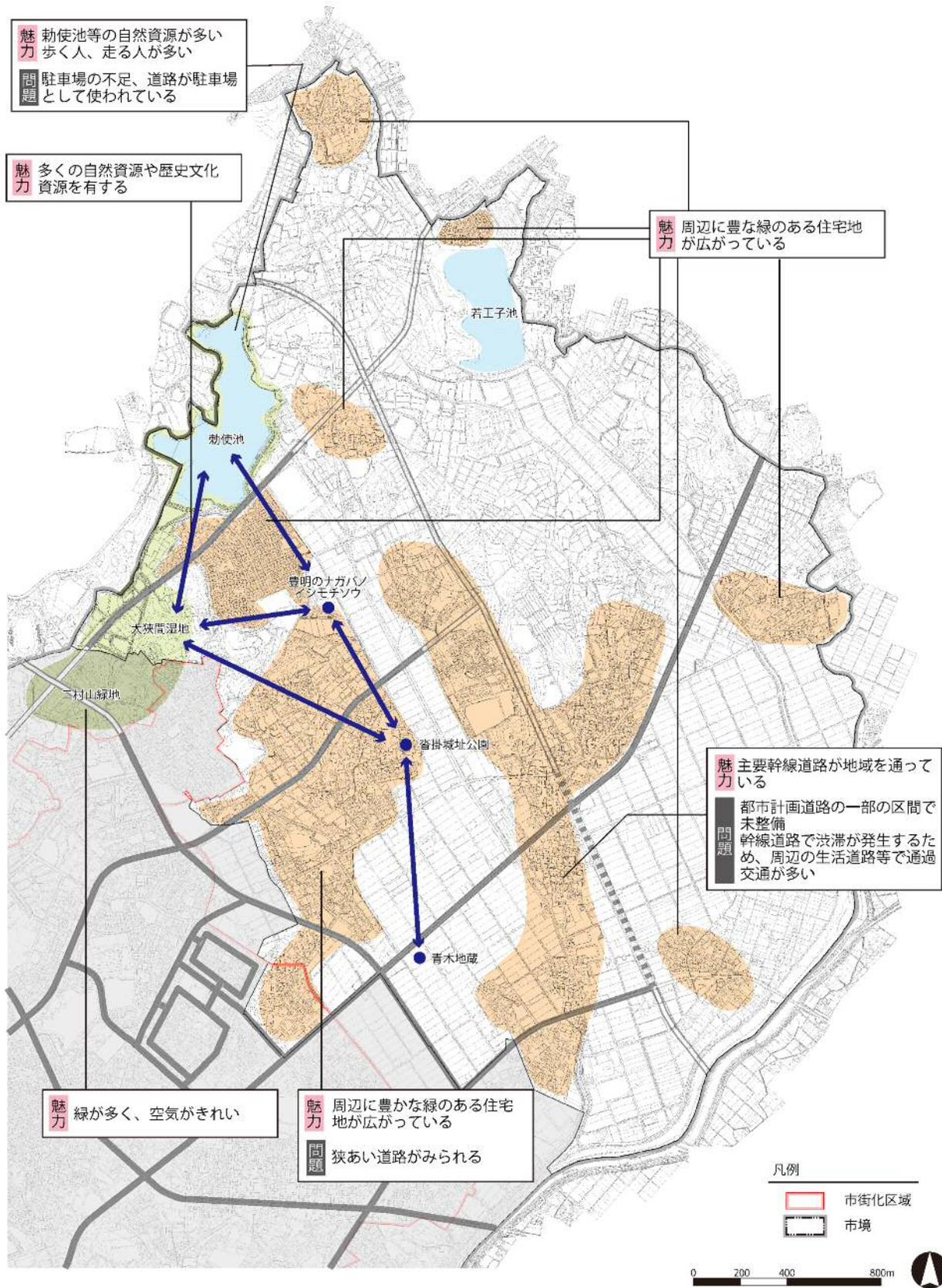
(1)地域の魅力

- 勅使池などの自然資源が多くあり、緑が多く、景観が良い地域であり、また、鎌倉街道や二村山景勝地、沓掛城址などの多くの歴史文化資源を有する地域となっています。
- 市街化区域に隣接する地区を中心に、周辺に豊かな緑のある住宅地が広がっています。
- (都)瀬戸大府東海線をはじめとした、主要幹線道路が地域を通っています。

(2)地域の問題点

- 後継者不足などの問題により、農地が放置されており、田園地域の保全が必要です。
- 都市計画道路の一部の区間で、未整備区間もみられ、整備の促進が必要です。
- 本地域の既成市街地では、狭あい道路がみられ、災害時における緊急車両の通行や住民の避難を容易にするなど防災機能の確保のため、狭あい道路の解消が必要です。
- 幹線道路などで渋滞が発生することにより、周辺の生活道路や農道において通過交通が多くなっていることから、特に通学路における歩行者の安全確保が必要です。

図 主な地域の魅力や問題点



3 全体構想における位置づけ

(1) 将来都市構造

- 産業連携軸に位置づけられている(都)瀬戸大府東海線及び(都)名古屋岡崎線があり、円滑な人の移動や物流を確保し、産業活動を支える軸として機能の維持・強化を図るとともに、豊明 IC 周辺などで、物流や製造業等の土地利用を誘導し、広域的な交通利便性を活かした都市構造の形成を図ります。

(2) 主な都市づくりの方針

- 二村山緑地周辺から勅使池にかけて広がる樹林地及び湿地においては、気軽に貴重な自然資源にふれ合えることでその大切さを学べる場として、引き続き、保全を図るとともに、市民の健康づくりや生活にゆとりを与えるレクリエーション活動の場として活用を図ります。
- 勅使台団地等の市街化調整区域にみられる住宅団地においては、整った都市基盤施設を活かしながら、引き続き、現在の土地利用を維持・改善し良好な居住環境を保全していきます。
- 広域的な交通需要に対応する主要幹線道路として位置づける(都)名古屋岡崎線及び(都)瀬戸大府東海線については、未整備区間の整備と整備済み区間の計画的な維持管理を関係機関に働きかけます。
- 主要幹線道路を補完する幹線道路のうち、未整備区間を有する(都)大根若王子線及び(都)桜ヶ丘沓掛線の整備を進めます。
- 南北方向の交通を円滑に処理する上で重要な役割を担う(都)大根若王子線を重点整備路線として位置づけ、整備を推進します。
- 勅使池周辺に設けられた遊歩道等の維持・利用増進を図ります。

図 本地域の将来都市構造図

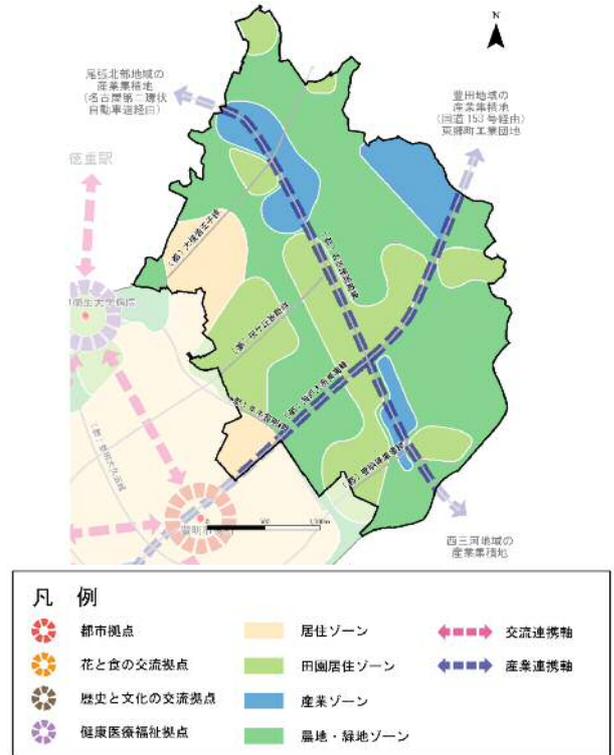
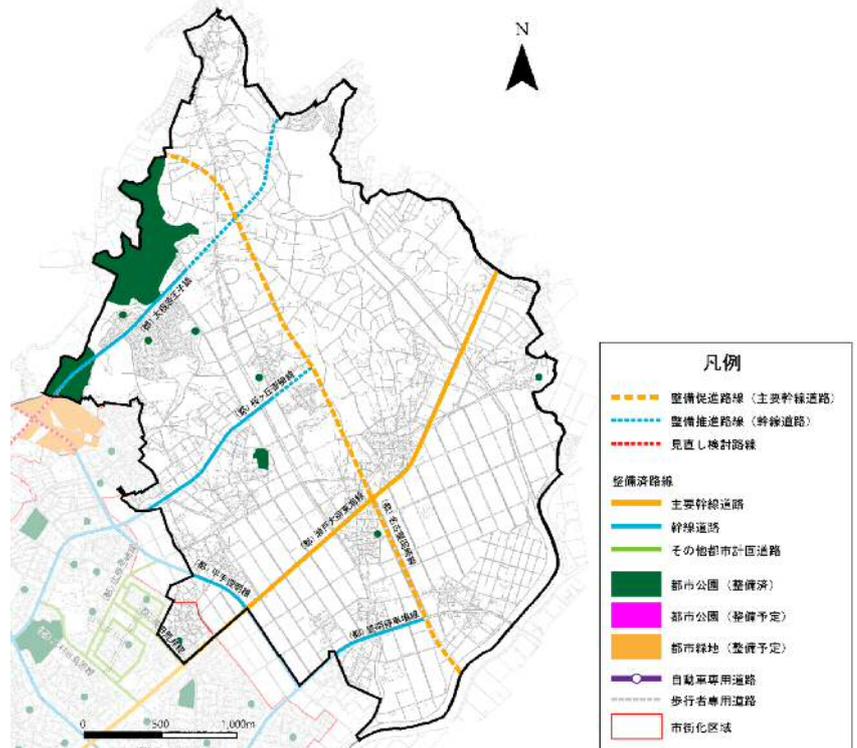
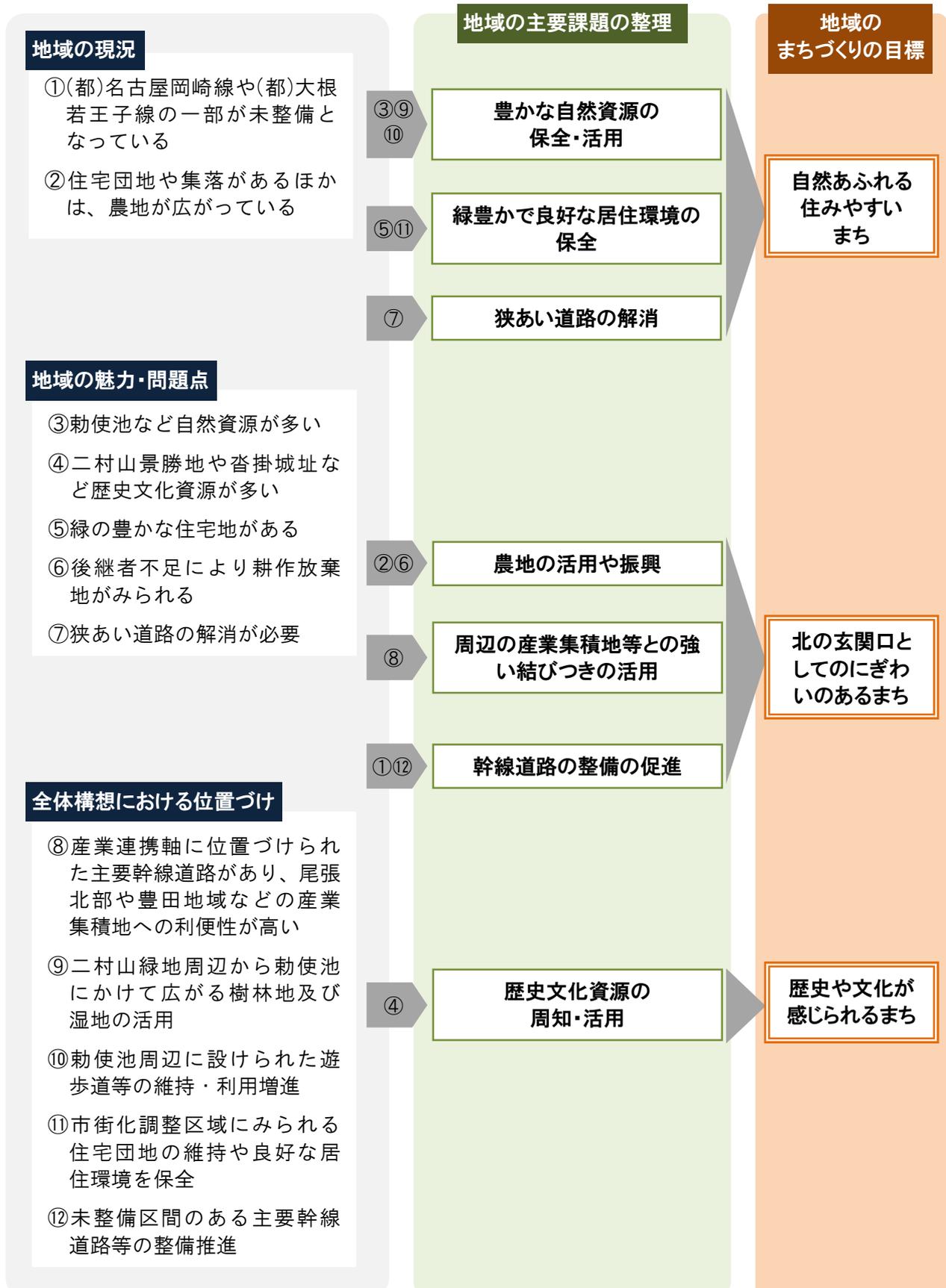


図 本地域の幹線道路、公園・緑地の整備方針図



4 地域の主要課題の整理



5 地域のまちづくりの目標と方針

本地域の魅力と問題点を踏まえ、本地域がめざすまちづくりの目標を以下のように定めるとともに、その実現に向けたまちづくりの方針を示します。

地域のまちづくりの目標

自然あふれる住みやすいまち

本地域では、二村山緑地や大狭間湿地などの自然に身近にふれあえ、緑豊かで安全・安心な住みやすいまちをめざします。

行政が主体的に取り組む地域のまちづくりの方針

- 緑豊かな環境を保全し、多くの人に訪れてもらうため、大狭間湿地周辺の整備や、勅使池の遊歩道の維持・利用増進を図ります。
- 二村山緑地周辺の樹林地においては、気軽に貴重な自然資源にふれ合えることでその大切さを学べる場として、引き続き、保全を図ります。
- (都)大根若王子線と(都)平手豊明線の交差部分については、二村山緑地と隣接するため、都市計画道路の見直しについて、調査・検討を行います。

住民と行政との協働による地域のまちづくりの方針

- 二村台や勅使台に隣接する地区において、地権者の合意形成や関係法令等への適合など、整備に向けた条件が整った場合には、自然環境と調和した良好な住宅地の形成を図ります。
- 勅使台団地においては、現在定めている地区計画に基づき、良好な住環境を保全する一方、社会環境等の変化に応じて地区計画の見直しを検討します。

【参考】住民が主体的に取り組む地域のまちづくりの方針

- 既存集落地にみられる幅員4m未満の狭あい道路について、地域住民が中心となって地域の意見の取りまとめや地権者の協力を得るしくみ等、狭あい道路の解消に関するルールづくりを検討します。

地域のまちづくりの目標

北の玄関口としてのにぎわいのあるまち

本地域では、主要幹線道路の整備を促進し、その沿道において産業ゾーンの整備や道の駅等の立地を検討することにより、北の玄関口としてのにぎわいのあるまちをめざします。

行政が主体的に取り組む地域のまちづくりの方針

- 主要幹線道路として位置づける(都)名古屋岡崎線の早期整備を働きかけるとともに、主要幹線道路を補完する幹線道路として位置づける(都)大根若王子線の整備を進めます。

住民と行政との協働による地域のまちづくりの方針

- (都)名古屋岡崎線に近接し、広域的な交通利便性に優れた地区において、地権者の合意形成や関係法令等への適合など、整備に向けた条件が整った場合には、周辺の居住環境や防災面に配慮した上で、工場や物流施設などの産業用地の形成を図ります。
- 農地の保全を図るとともに、主要幹線道路の沿道では、道路利用者だけでなく地域住民の生活利便性の確保や地域活性化の拠点となる農産物等の直売所や、道の駅等の立地を検討します。

地域のまちづくりの目標

歴史や文化が感じられるまち

本地域では、地域の歴史文化資源に関する情報発信や歴史文化資源のネットワーク化により歴史や文化が身近に感じられるまちをめざします。

住民と行政との協働による地域のまちづくりの方針

- 地域住民からなる任意団体を立ち上げ、その任意団体が中心となって沓掛城址公園をはじめとした歴史文化資源などのネットワーク化の推進と案内看板の作成や、沓掛城址公園を中心とした歴史文化資源及び周辺の桜のPRを進めます。

